



# 会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

財団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 小崎繁昭

編集責任者 高田聡也・金子健史・高永博夫  
水井正隆・大富正壽

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <http://www.jamt.or.jp>



JIMTEF設立20周年

日臨技に感謝状

(財)国際医療技術交流財団(JIMTEF : Japan International Medical Technology Foundation)が、設立 20 周年を迎えた。その記念式典が、平成 19 年 10 月 23 日(火)虎ノ門パストラルホテルで開催された。

日臨技は設立当初から「開発途上国への医療技術支援」をおこなってきた。今回、多くの協力団体が表彰され、医療関連職種 24 団体協議会を代表して、小崎繁昭会長が河合忠同財団理事長から感謝状を受けた。

また、式典に先立ち、「開発途上国の求める医療技術=JIMTEF 事業を通して見えるもの=」をテーマに記念シンポジウムがおこなわれた。

JIMTEF は、1987 年 10 月 31 日、当時の小酒井望順 天堂大学名誉教授と渡辺美智雄通商産業大臣が発意、公益法人として発足したものである。

その精神は、国際的視野にたつ医療技術者相互の理解のもと“開発途上国の医療技術の振興及び交流を促進し、人類の福祉に寄与する”としている。

主たる事業としては、

- ◇開発途上国からの医療技術分野の研修員の受け入れ
- ◇開発途上国への医療技術分野の専門家の派遣
- ◇開発途上国への調査団の派遣
- ◇交際医療協力に関するフォーラム・セミナーの開催
- ◇医療関連職種 24 団体協議会の開催

となっている。医療関連団体としては、当会の他、日本病院薬剤師会、日本放射線技師会、日本理学療法士協会、日本作業療法士会、日本栄養士会・・・などである。

開発途上国からの医療技術分野の



感謝状を受ける小崎繁昭会長

研修員の受け入れは臨床検査技師 327 名、診療放射線技師 276 名、理学療法士 40 名、作業療法士 19 名等となっており、全体では 935 名である。

地域はアジア 573 名を

はじめ、中南米 136 名、アフリカ 134 名・・・と続く。何故、国際協力が必要なのか? という意見も多くあるが、当日の記念講演をおこなった国立国際医療センター笹月健彦総長が述べている。「・・・この宇宙は 137 億年前に誕生した。そして 45 億年前に誕生した地球はユートピアであるべき星である。人類が脳を進化させた結果として“本来あるべき地球の寿命”を短いものにしていく。」更に、「今、AIDS では年間 300 万人が、結核では 200 万人が命をおとしている。また、がん、新興・再興感染症や、糖尿病を中心とする生活習慣病は人類が解決を迫られている重要な疾患である。そのため、開発途上国の医療状況を改善するのは地球上の全人類・・・地球そのもののためである。」



- P01 JIMTEF 設立 20 周年記念式典
- P02 同記念シンポジウム・追悼:藤原ムチ先生を偲んで
- P03 裁判員制度-1
- P04 地区学会便り-1
- P05 同-2・地区短信・Oh!脳
- P06 ひとくち英会話・季節の花
- P07 IFBLS 代表者会議・第 3 回 J-J セミナー・日韓代表者会議
- P08 厚生労働白書販売案内・厚生労働大臣表彰

- P09 予告:医療安全研修会・第2回日臨技 forum
- P10 資料:文書化(第 1 回)-1
- P11 資料:同-2
- P12 裁判員制度-2:気になるキーワード<デジタルラジオ>
- P13 認定一般試験・投稿:Crime doesn't pay・論文賞募集
- P14 理事行動・編集室雑感・いきなりかい
- P15 JAMT 共済ネット
- P16 臨床検査技師賠償責任保険